

連携提案：子どもたちの主体的なつくる・みる活動の場の支援

キーワード：つくる・みる、美術館、地域、協同、子どものよさ、多様性、居場所

芸術・体育教育 学系

五十嵐史帆 Ikarashi Shiho

連携提案内容と効果

美術教育に関連する自治体、社会教育施設、NPO、企業等との連携を考えており、子どもたちの主体的なつくる・みる活動の場を一緒につくったり、支援したいと考えています。

例えば・・・

子どもたちの主体的な造形活動(工作や鑑賞に関する活動を中心としたつくる・みる活動)を支援する場やその方法を一緒に考えてつくります。

美術館等での活動を一緒に考え、コーディネート(間に入って調整)します。

作品展等で子どもたちの作品をどのようにみとるか、どんなよさがあるのかを一緒に考えます。

このような連携を通して、子どもたちのつくる・みる活動の機会を増やすとともに、表現の可能性を広げたり、人との考え方、感じ方の違いに気が付いたりすることで、社会の多様なあり方へを理解することにつながります。また、主体的な造形活動を保障することで、自分らしくいられる場所を獲得していく手助けをします。

さらに、このような活動を積み重ねていくことで、学校や家庭だけでなく、地域で子どもを育て(美術)文化を育むという意識が、社会に広がっていくことが期待できます。

「ヨリ・ミチ図工室」(2017～)の例です。参考にしてください。

↓放課後、子どもたちが学校から直接やってきます。



学生が中心になって活動を考え、支援をしています。↑この日は連続する絵をぐるぐる回して動画を作りました。



↑友だちと協力したり、違う学校の友だちとグループで活動したりします。

アピールポイント

現在、小林古径記念美術館と連携し、放課後の造形活動の場として「ヨリ・ミチ図工室」を開催しています。他にも、様々な場所でワークショップ等を行なっています。

また、絵画や版画のコンクール審査、作品発表等も行なっています。

連携したい分野

子どもたちの主体的なつくる・みる活動を行う、自治体、保育園・幼稚園、児童クラブ、NPO、企業 他。美術館、博物館の教育普及活動。子どもの展覧会、造形コンクール等。

研究テーマ：従来の枠にとらわれない視点から「美術」「教育」を再考する



プロフィール	2004年9月兵庫教育大学大学院連合学校教育研究科(博士課程)修了、博士(学校教育学)。広島大学大学院教育学研究科の講師、准教授を経て、2009年4月より上越教育大学大学院学校教育研究科准教授。	専門分野	美術教育
関連URL	https://www.juen.ac.jp/gks-art/profile_shiho.html	主な研究内容	図画工作・美術教育 美術館教育 教材開発 立体造形, 手芸

関連する業績等

『図画工作科・美術科教育法』建帛社, 2019, (共著)
「ヨリ・ミチ図工室」(放課後造形活動)を主宰(2017～)
新潟県児童生徒絵画・版画コンクール(2018, 2019)
新潟県ジュニア美術展(2014～2018)、妙高市ジュニア芸術展(2016) 他 審査員
新制作協会会員。

お問い合わせは、 五十嵐史帆研究室 shiho@juen.ac.jp